

公益社団法人日本技術士会 C P D 行事 報告書

開始日時	2025 年 7 月 12 日 (土)	1 5 時 4 0 分
終了日時	2025 年 7 月 12 日 (土)	1 6 時 4 0 分
名称	第 149 回 C P D 年次大会特別講演会 (ハイブリッド形式)	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	TKP 千葉駅東口ビジネスセンター カンファレンスルーム 4F	
行事内容	特別講演:「千葉の経済発展と技術」 講演者:株式会社ちばぎん総合研究所 代表取締役社長 前田栄治 様	
参加人数	参加者総数 64 名 (会場参加 58 名、ZOOM参加 6 名)	

ご講演は、Google AI や日本銀行、内閣府、各種統計などの統計データをもとに講演資料を作成され、千葉県経済の特徴と課題、さらに 2050 年の明るい将来像を熱く語っていただきました。概要は以下のとおりです。

1. 「技術と経済」では、

- ・ Google AI による「技術進歩と経済発展の関係」から、「生産性の向上、新たな市場の創出、競争力の強化、及び雇用の創出」の 4 項目を抽出し、最近急速に進展している AI の活用事例を紹介されました。以下講演の要旨をまとめます。
- ・ 日本の潜在成長率を上げるためには、人口減少が見込まれる中、イノベーションと労働の質の向上が求められる。
- ・ トランプ関税で世界の経済成長率は低下し、為替変動やサプライチェーンの再構築など、米依存からの脱却が求められる。
- ・ AI の利活用は、業務効率化（生産コストの抑制）だけでなく、顧客のニーズや好みに合わせた最適化（パーソナライズ化）やイノベーションによる高付加価値化を実現する。
- ・ AI のマクロ的な労働生産性効果は+0.6%で、業種別にみると情報通信、金融、保険が大きく、卸売りや建設は小さい。
- ・ 生成 AI の登場後、自動化しやすい職種の求人が減少、AI と協働する職種の求人は増加するなど、労働市場の二極化は進む。
- ・ 人手不足下で地域企業の最近の取り組みは、デジタル技術活用、量から質への転換、人員配置や事業サービスの抜本的見直し、経営資源の共用化などである。
- ・ 労働生産性への影響は、製造業ではソフトウェア、研究開発部門に、非製造業においてはソフトウェアに重点が移っている。
- ・ 日本の名目 GDP は輸入価格の上昇等で伸び率も高い。

2. 「千葉県経済の特徴と課題」では、

- ・ 千葉県の主要な統計指標は、輸出入額が第 1 位で、人口、名目総生産、従業者数、農業産出額、海面漁業漁獲量、製造品出荷額、観光サービス業なども全国の 5~10 位以内の入っており、大変バランスの取れた県である。
- ・ 総生産における産業構成比をみると、電気・ガス・水道や運輸・郵便業、不動産業は全国に比べて特化係数が大きく、製造業の中でも食料品、化学、石油石炭、金属が特化しているのに対し、先端産業や情報通信機器類が弱い状況となっている。
- ・ 人口動態をみると、2050 年の地域別将来人口見通しは、銚子・九十九里、南房総の減少が著しい。

- ・高速道路網も2010年時点と比べて2020年には3環状道路の整備が進み、将来的にも北千葉道路や新湾岸道路など今後の道路網整備が期待できる。
- ・成田空港の機能強化は、B滑走路の延伸やC滑走路の新設（2028年度末）、その後の旅客ターミナルの再構築や新貨物地区の整備による航空物流機能の集約、交通アクセスの実現が期待される。
- ・千葉県全体が「国家戦略特区」の指定を受けており、地域と空港との総合連携による一体的・持続的発展（グローバルエアポートシティ）により、「物流＋精密機械、航空宇宙、健康医療、農業、観光が産業集積の対象となっている。
- ・千葉県経済同友会では、対象となる中心分野を、ヘルスケア、脱炭素・SDGs、農林水産業におき、4エリア（幕張新都心周辺エリア・湾岸エリア・成田空港エリア・東葛エリア）に分け、千葉のイノベーション促進に向けた4つの提言を行っている。

① 県主導の新産業振興構想 ②産官学民ネットワークの実効性向上と役割明確化 ③デジタル実装による地域課題の解決と新たな成長の実現 ④交通インフラの整備と産業用値・施設の確保

・2050年の千葉県の将来像を規定する諸要素として、「人・技術・環境面」を展望し、具体的には、人口減少と高齢化率の上昇、1万人以下の自治体の増加(8⇒14団体)、外国人の増加、技術の面ではAIの実装、宇宙ビジネスなど新産業の拡大、環境の面では、気候変動等に伴う自然災害の頻発化・激甚化やカーボンニュートラルの実現などを掲げている。

・さらに、成長が期待される分野や産業として、「ヘルスケア産業、情報処理・通信関係、脱炭素・再生可能エネルギー、高度化した農水産業と食料品製造業、高付加価値化の体験を提供する観光、モビリティ（技術を活用した公共交通網）、空・海・宇宙の玄関機能を活用した産業」の7つを提言された。

「アイデアの花が咲きほこり、人・企業を引き付ける千葉へ」 全国でも卓越した千葉県の明るい未来がモノづくり日本の復活につながる—千葉県に住んでよかった—そんな心強いメッセージをいただきました。

ご講演いただきました前田先生に感謝申し上げます。



前田栄治先生